

インフォシス、ジョンソンコントロールズ向けにグローバル保証ソリューションを導入、 製品保証プロセスの簡略化を実現

SAP S/4 のグローバル保証ソリューションで、顧客中心主義と費用効率を向上

バンガロール (インド) – 2021 年 1 月 11 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである[インフォシス](#) (NYSE: INFY) は、本日、ジョンソンコントロールズ社の全ダクト付属製品向けに、SAP S/4 HANA へのグローバル保証ソリューションの導入を完了したことを発表しました。これにより、持続可能なスマートビルの世界的大手企業であるジョンソンコントロールズは、製品保証プロセスの簡略化を実現し、アセットの可視性を高め、より優れた顧客対応を目指します。

ジョンソンコントロールズは、同社の事業優先度についての深い知識を備え、過去 20 年以上にわたり同社向けに最適なソリューションを開発してきたインフォシスを技術サービス・パートナーとして選択しました。インフォシスは、SAP Fiori と SAP S/4 HANA の組み合わせなどの最新の UI/UX テクノロジーを活用し、同社のレガシーシステムのグローバル保証ソリューションへのリプレイスを実施しました。これらのテクノロジーは、プロジェクト実行におけるアジャイル手法の導入と併せ、統合されたエンドツーエンドの中央集中型保証プロセスをジョンソンコントロールズに提供しています。また、このソリューションは、装置の統合と最終製品の保証申告を支援すると同時に、B2B と B2C のいずれの顧客にもデジタルファーストな体験を提供するものです。

ジョンソンコントロールズの北米・グローバル・リテール・ビルディング・ソリューション部門、情報技術担当副社長の **Krzysztof Soltan 氏** は次のように述べています。「スマートで健全なビルのアセットについて、保証管理が果たす役割は、プロセスレベルでもオペレーションレベルでもますます重要になっています。次世代型のデジタル・ニーズに対応するために、

当社はインフォシスとパートナーシップを締結し、お客様にジョンソンコントロールズの OpenBlue デジタル・プラットフォームを通じて最も関連性の高い情報を提供できるソリューションを構築することにしたのです。」

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼製造業担当グローバル責任者の Jasmeet Singh は次のように述べています。「SAP S/4 でのグローバル保証ソリューションの導入は、当社の 20 年にわたるジョンソンコントロールとのパートナーシップの証です。グローバル保証ソリューションは、レガシーシステムにシームレスに統合され、業務プロセスのハーモナイゼーションを担います。この変革ジャーニーを通じて、当社はジョンソンコントロールズの保証プロセスにおけるデジタル戦略についても支援してまいります。包括的な保証ソリューションを備えることで、ジョンソンコントロールズはデジタルな消費者に対し、最良のアフターセールス体験を提供できることになります。」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 46 か国でお客様のデジタル変革を実現しています。約 40 年にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2012 年会計年度（2013 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）と 2013 年第 1 四半期（2013 年 4 月－7 月期）（Form 6-K）を含



め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.govでご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com